特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上について（岩手県金ケ崎町）

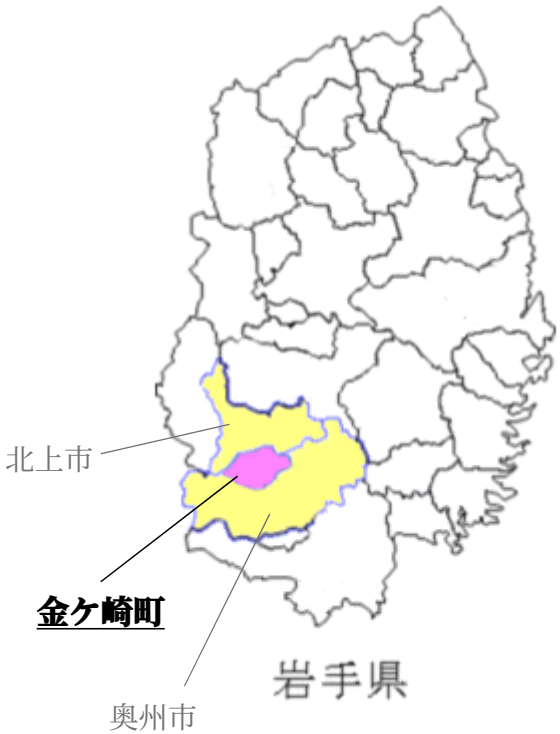
～令和２年度紹介事例～

岩手県保健福祉部健康国保課
東北厚生局管理課

岩手県金ケ崎町の概要

人　　口	15,550人
国保被保険者数	2,946人
加　入　割　合	18.95%

（令和2年3月31日現在）

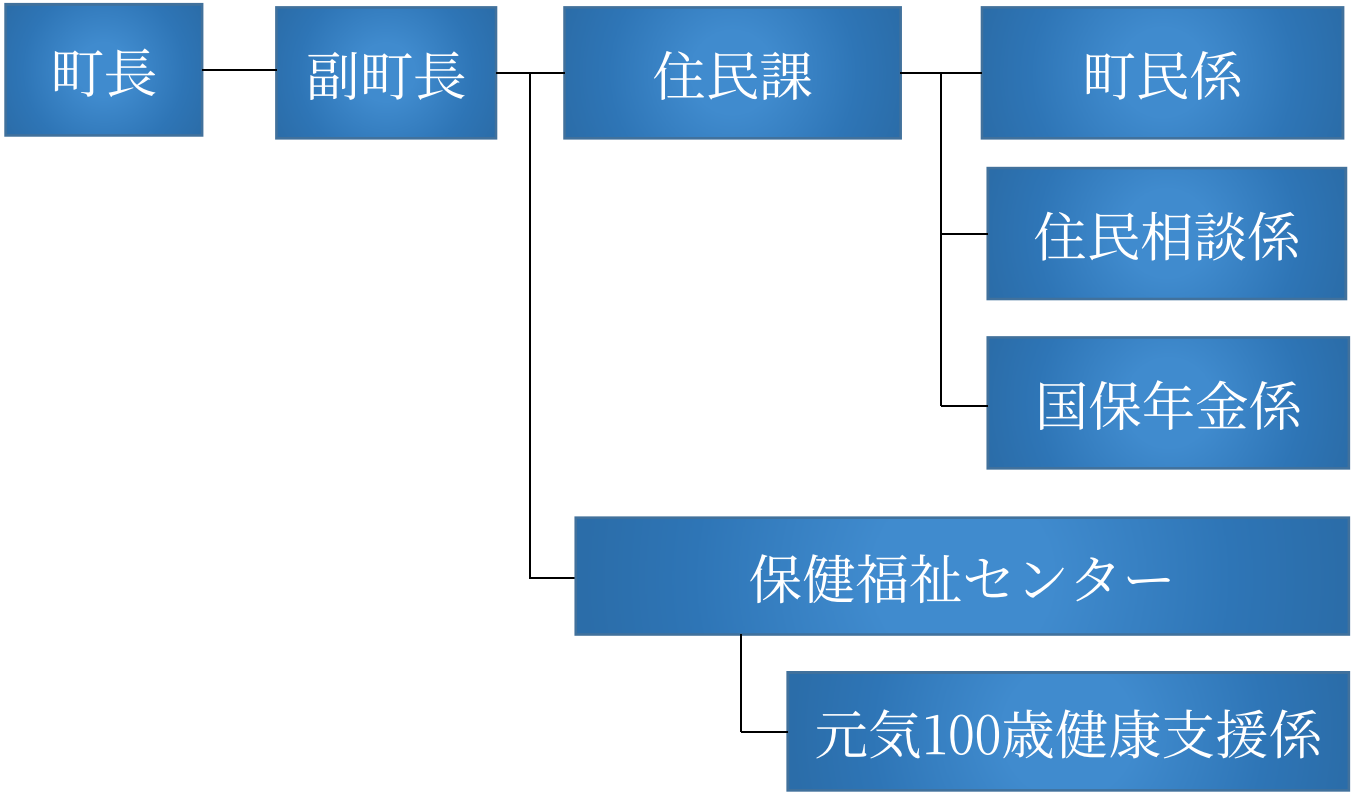


○金ケ崎町は、岩手県の南西内陸部に位置し、北は北上市、南は奥州市と接している。山岳部から平野部までの間の1,300ﾒｰﾄﾙに及ぶ高低差は、さまざまな気象と風土を生み出し、多様な産業を育んできた。

○基幹産業の農業は、駒ヶ岳の東側に広がる肥沃な扇状地帯で米・野菜・花きの栽培が盛ん。西部山麓地帯では広大な牧草地を活用した酪農や大型畜産が行われている。

○工業は、県内最大級の工業団地を有し、医薬品・半導体・自動車組み立て工場を含む自動車関連企業などが立地し、飛躍的な発展を見せており、東北の市町村の中においても５番目の生造品出荷額を有し、地域経済の発展や雇用機会の創出に貢献している。

保健事業の実施体制



課　　長	１名
課長補佐	１名
係　　長	１名
主　　事	３名
主 事 補	２名

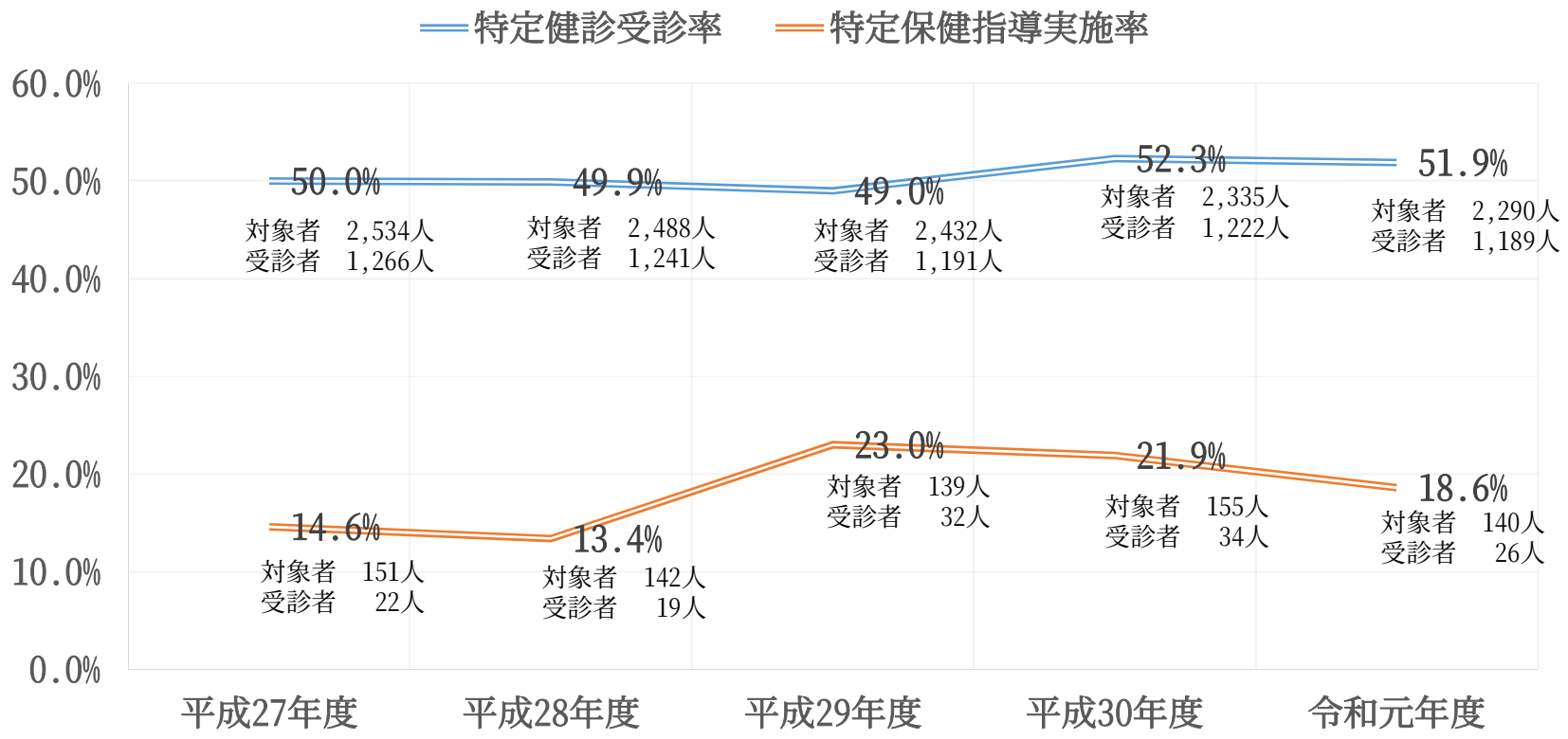
保　健　師	５名
管理栄養士	２名

（会計年度任用職員含む）

事　務　長	１名
事務長補佐	１名

・特定健診は岩手県予防協会へ委託している。
・保健福祉センターの保健師２名と管理栄養士２名で特定保健指導を担当している。

特定健診受診率・特定保健指導実施率の推移



○特定健診受診率については50%前後の水準を保っているが、特定保健指導実施率については、平成29年度に23%になったものの、微減傾向。

特定健診受診率向上対策

受診環境の整備

・特定健診とがん検診の同時実施、午前6時30分からの受付開始及び追加健診の実施。

被保険者への受診の働きかけ（広報、受診勧奨通知）

・広報誌への掲載（年3回）、コミュニティFMで行政情報（健診含む）を放送（毎日2回）。
・受診勧奨の通知方法を工夫しており、記載内容を「シンプルに」「わかりやすく」「見やすく」「義務感を出す」を心がけて通知を送付している。

継続受診対策

・グラフ、コメントの付いた結果通知書を採用し、受診勧奨判定値以上の者には、結果票の該当箇所にマーカーを引き、わかりやすい結果通知を実施している。
・受診者全員に無料で、眼底検査、貧血検査、心電図検査及び推定塩分摂取量測定を実施している。

健診データの提出について協力要請

・国民健康保険被保険者のうち、職場等で健診を受けた人にそのデータを提供するよう町のホームページ等で周知し協力を要請している。特定健診検査項目と同様のデータを提出した場合は特定健診の受診者として計上している。

人間ドックの費用助成

・人間ドックを受診した人に対して１人１回を限度に10,000円の費用を助成。特定健診の項目を網羅している人間ドックについて受診データを提供してもらい、特定健診受診者として計上している。

特定保健指導実施率向上対策

特定保健指導について

○保健指導担当は保健師２名、管理栄養士２名（会計年度任用職員含む）。
○生活習慣の改善方法を自らが選択し、行動変容につながるよう支援する。保健指導の必要性に応じて「情報提供」「動機づけ支援」「積極的支援」を実施。
○保健指導の対象者を保健福祉センターへ来てもらい、面談（目標設定（体重・食事・運動・生活習慣）を行う。
○面談は個別またはグループで行う。
○２週間後に電話をし、目標に向けて進んでいるか確認する。
○３週間後に体重・血圧・腹囲の数値を確認し、評価を行う。

保健指導実施率向上について

○平成30年度に保健指導グループ支援をトヨタ自動車東日本の協力により実施した。工場見学ウォーキング、社員食堂作製弁当を教材とした講話、健康インセンティブ事業と一体化して行う企画により、２０人程度集まり、参加者の満足度も高かった。
○令和元年度はドコモショップの協力で、スマホアプリを使用したヘルスケア講習会と併せて行った。参加者は５人程度。
○令和２年度についてはコロナの影響によりグループ支援は行っていない。電話による支援で補っていく。